

令和元年度「民間試験を活用した英語4技能向上事業」

報告書 A高校

1 令和元年度（平成31年度）入学生の指導に係る全体計画 **Plan**

技能	1年	2年	3年
Reading	(指導計画) 音読テスト パフォーマンステスト (力) 英語の意味のまとまりをほぼ正確に捉え、聞き手を意識した自然なスピードで音読ができる。	(指導計画) 音読テスト パフォーマンステスト (力) 英文の内容の理解が十分であり、内容が聞き手に伝わる自然な区切りやスピードで音読ができる。	(指導計画) 音読テスト パフォーマンステスト (力) 英文の内容の理解が十分であり、内容がよりよく相手に伝わるよう工夫して音読ができる。
Listening	(指導計画) クラスルームイングリッシュ、教科書、リスニング教材、外部検定 (力) 教科書の本文を繰り返し聞いて、その概要や要点を正しく把握できる。 日常生活での話題や簡単な説明・指示を、正しく理解することができる。	(指導計画) クラスルームイングリッシュ、教科書、リスニング教材、外部検定 (力) 5文程度の長さの英文を一度聞いて、その内容をおおまかに理解できる。 簡潔で身近な内容の情報、説明、会話等を聞いて、ほぼ理解することができる。	(指導計画) クラスルームイングリッシュ、教科書、リスニング教材、外部検定 (力) 10文程度の長さの複数の話題が含まれた話や会話を聞いて、その内容をほぼ理解できる。 標準語で話されれば、抽象的な話題でも、その内容をほぼ理解できる。
Speaking	(指導計画) パフォーマンステスト、スピーチ、プレゼンテーション、ディベート、外部検定 (力) 身近な話題や、絵や写真の資料について、自分の思いを簡潔な英語で話すことができる。	(指導計画) パフォーマンステスト、スピーチ、プレゼンテーション、ディベート、外部検定 (力) 与えられた条件に合わせて、伝えたい内容を整理して話すことができる。	(指導計画) パフォーマンステスト、スピーチ、プレゼンテーション、ディベート、外部検定 (力) 与えられた条件に合わせて、相手の立場を尊重しながら意見のやりとりができる。
Writing	(指導計画) ライティングテスト、スピーチ、プレゼンテーション、週末英作文 (力) 自分の興味、関心のあることに対する意見と理由、感想等を80~100語程度の英文で書くことができる。	(指導計画) ライティングテスト、スピーチ、プレゼンテーション、週末英作文 (力) 与えられた条件に合わせて、自分の意見と理由、感想等を100~120語程度の英文で書くことができる。	(指導計画) ライティングテスト、スピーチ、プレゼンテーション、週末英作文 (力) 与えられた条件に合わせて、自分の意見と理由、感想等を100~120語程度の論理的な英文で書くことができる。

2 試験結果を踏まえた(1)現状分析、(2)重点課題、(3)重点課題の克服に向けた実践(指導と評価の工夫) **Do**

技能	(1) 現状分析	(2) 重点課題
	(3) ①実践(指導の工夫)	(3) ②実践(評価の工夫)
Reading	(1) 4月の結果では校内平均で62.7wpmであり、簡単な文章の大まかな流れを理解する力はある程度ついてきている。	(2) 具体的に情報のつながりを読み取る力をつけたい。文の対比や具体例など段落内での文の関係を把握した上で、段落ごとに伝えたいメッセージをとらえる力をつけたい。
	(3) ① 意味のまとまりを意識するために、スラッシュリーディングをする。音読は、バズ・CDのオーバーラッピング・リードアンドルックアップ・シャドウイング・コーラスなど様々な読みで練習している。	(3) ② 各パートで、生徒一人に一文ずつ音読させたり、クローズド・リーディングやQ&Aを行ったりして、発音の正確さ・流暢さ・理解の程度を評価している。
Listening	(1) 4月の結果では英文を聞いて意味のまとまりごとに区切り、状況をイメージして全体の意味をつかむ力はある程度ついてきている。	(2) 話し手の発話の意図を理解しながら、会話や話の流れをつかむ力をつけたい。
	(3) ① 教科書を数回繰り返し聞くことで、内容が理解できるようなcomprehension questionを設定している。また授業でリスニング教材を聞いている。	(3) ② 難しいと思われる設問についてはペアやグループで話し合わせて評価している。また、考査でリスニングテストを行っている。
Speaking	(1) 授業の中でペアで話をする活動を多く取り入れ、また外部試験を模した絵を説明する活動やALTとの授業でのスピーチ活動などを通して、英語で話すことに慣れてきた。	(2) 間違えてしまうことへの抵抗感が強く、大きな声で堂々と話すことができない生徒が多い。自信をつけることが必要だと感じる。
	(3) ①個人練習、ペア練習で十分に自信をつけてから発表させている。外国語で間違えることは当たり前だと繰り返し言い聞かせている。	(3) ②パフォーマンステストの評価について、個別に肯定的なコメントをして自信につながるようにしている。
Writing	(1) 「意見、理由、サポート」の基本を踏まえ、4段落構成の英作文を書けるようになったが、文法のミスが多く、語彙も十分でない。	(2) 文法力、語彙力、自分の意見を深める力を伸ばす必要がある。
	(3) ①週末課題としてテーマ型自由英作文を課している。授業中の活動として「話す→書く」ことをしている。	(3) ②パフォーマンステストの時間に辞書持ち込み型のライティングテストを課している。英語表現の定期テストに英作文を出題している。

3 実践の検証 **Check** 及び改善案 **Act**

技能	実践の検証	改善案
Reading	① 12月の結果では校内平均で76.6wpmであり、CEFRレベルがA2.1になった。具体的に情報のつながりを読み取る力はある程度ついてきている。	① 段落間の論理構成やその文章で説明されている事柄の背景にある因果関係を意識しながら読む力をつけたい。
	② 項目別に見ると、パートCの要点理解問題で全国との正解率の差が見られる。	③ 読むスピードの向上だけでなく、読みながら同時に内容をとられるようスラッシュリーディングを継続して指導していきたい。
Listening	① 話し手の発話の意図を理解しながら会話や話の流れをつかむ力はある程度ついてきている。	② 内容の展開や発展についていきながら、会話や話を聞いていく力をつけたい。
	③ この1年間でCEFRレベルがA2.1に上がったが、他の4技能に比べてスコアの伸び率が低い。	② 授業でリスニング教材に取り組むだけでなく、ペアやグループ活動の中で会話の機会を増やし、スピーキング力と連動してリスニング力を高めたい。
Speaking	① この1年間でスピーキングのスコアが約50伸び、CEFRレベルがA2.2になった。全体的にスピーキング力の向上がみられる。	① 基礎的な語彙力、文法力を高めてより正確な伝わる英語を話せるように、また自信をもって流暢な英語を話せるように段階を踏んだ指導をしていきたい。
	② 項目別に見ると、パートBの問いかけに答える問題を苦手とする生徒が一定数みられる。	② 授業の中でペアやグループで話し合う機会を多く持ちたい。
Writing	① 8月はテーマが難しかったせいかスコアが下がったが、12月で持ち直した。4月からスコア上の伸びはあまり見られないが、指導をしていて書く力は着実についていると感じる。	① どんなテーマであっても自分の考えをまとめて論理的な文章が書けるように、社会の動きを知る活動、例えばネットの英語ニュースを見る活動などを継続していきたい。
	② 「意見」の部分のスコアが低い生徒が多かった。日本語でも英語でも自分の意見をまとめることが苦手である。	② 基本的な型に合わせた英文は書けても、説得力のある強い文章になっていないことが多いので、サポートのつけ方を指導していきたい。